

再生産表式の修正と産業連関表－四部門四価値構成の再生産表式に基づく産業連関表の考察－（寺田隆至）

正誤表

頁	行	誤	正
12	29～30	なお、最後の式は、単純再生産の規模を超える余剰消費財 500（＝2000－1500）の存在を示すが、この存在は拡大再生産の絶対的な条件ではない。	最後の式は、この余剰中間財と余剰資本財を、第 3 部門の単純再生産に必要な規模を超える余剰生産手段 500（＝2000－1500）として示す。なお、上の表式には、余剰消費財の存在は示されない。
34	35	全ての労働を剰余労働＝不払労働として行うのであり	全ての労働（＝必要労働＋剰余労働）を不払労働として行うのであり
35	9～10	「サービス財」は、「有用な機能を果たす働き」のみが売買させる財」である	「サービス財」は、「有用な機能を果たす働き」のみが売買される財」である